

(別添)

造林計画書

造林者

住所 庄原市中本町〇〇

氏名 〇〇 〇〇

電話番号 0824-73-0000

※法人にあつては、名称及び代表者の氏名

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画 ①伐採後、植栽若しくは天然更新により森林に戻す場合

造林面積 (A+B+C+D)	0.7 ha
人工造林による面積 (A+B)	ha
植栽による面積 (A)	ha
人工播種による面積 (B)	ha
天然更新による面積 (C+D)	0.7 ha
ぼう芽更新による面積 (C)	0.5 ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 () なし
天然下種更新による面積 (D)	0.2 ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他 () なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林 (植栽・人工播種)	RO.O.O~ RO.O.O	ヒノキ	〇ha	末尾 参照	〇〇 森林組合	ツリーシェ ルターを設 置
天然更新 (ぼう芽更新・ 天然下種更新)	RO.O.O~ RO.O.O	マツ、その他 広葉樹	〇ha	/	/	
5年後に天然更新が 完了していない場合、 その時点から2年以内 に伐採を完了した日を含 む年度の翌年度の初日 から起算して5年以内	5年後において 廻確な更新が なされない場合	マツ、その他 広葉樹	〇ha	末尾 参照	〇〇 森林組合	シカネッ トを設置

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途 ②伐採後、転用する場合

太陽光発電設備設置

2 備考

注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 3 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 4 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 5 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること

樹種別の植栽本数について（庄原市森林整備計画）

人工造林又は天然更新後5年後に生育不良にて植栽する場合の植栽本数は以下のとおりです。

人工造林の樹種別及び仕立ての別の植栽本数

樹種	仕立ての方法	標準的な植栽本数（本/ha）	備考
スギ	中仕立	2,000～3,000本	
ヒノキ	中仕立	2,000～3,000本	
クヌギ	中仕立	3,000～4,000本	
アカマツ	中仕立	3,000～5,000本	

注 広島スーパーマツは、アカマツに準ずる。

天然更新の対象樹種は以下のとおりです。

天然更新の対象樹種

区分	針葉樹	広葉樹
天然更新の対象樹種	アカマツ	ナラ類、カシ類、カエデ類、サクラ類、シデ類等
ぼう芽による更新が可能な樹種		ナラ類、カシ類等

天然更新の期待成立本数は以下のとおりです。

5年後の確認では、期待成立本数×3/10以上の本数が更新していることを確認してください。
※樹高が30cmかつ草丈以上のものに限る。

天然更新の対象樹種の期待成立本数

樹種	期待成立本数
アカマツ、ナラ類、カシ類、カエデ類、サクラ類、シデ類等	6,000本/ha